

「スマート農業」で、地域は変わる



スマート農業って何だろう？

私たちが参加してきました!!

僕たちも参加したい!!

in 新潟

〈地元 高校生レポーター〉
川上 夢来さん

〈地元 高校生レポーター〉
串田 渉さん

日本の未来を担う若い世代が自分の住む地域の可能性や活性化について考える機会を創出すべく、「地方創生×スマート農業」をテーマとするシンポジウムを5月に開催しました。高校生レポーターがワカモノの目線で本イベントの様子を捉えたレポートをお届けします。

地方から日本を元気に!



片山 さつき氏
まち・ひと・しごと創生担当大臣



溝口 洋氏 新潟県副知事
中原 八一氏 新潟市長

「地方創生ワカモノ会合」は、G20関係閣僚会合に連動して全国で開催されているイベントです。開会の挨拶で片山大臣は、地方創生のために新潟が新しい農業を牽引してほしいと話し、溝口副知事もスマート化によって魅力的で稼げる農業に変わることが重要だと強調。中原市長は閣僚会合で新潟市の最新農業が各国大臣に評価されたことを紹介しました。スマート農業は情報通信やロボット等の最先端技術を使って生産性を高める農業で、労働力不足や技術承継などの問題解決も期待されています。続いて、スマート農業が具体的にどのようなものかが分かる取組事例が紹介されました。



最先端技術を使った新しい農業、かっこいい!

技術開発だけじゃない! スマート農業への様々な関わり方



野口 伸氏
北海道大学大学院農学研究院
副研究員・教授

データシェアで、新たな農業を実現

野口教授はTVドラマで注目された無人農業ロボットを研究するほか、様々なデータの連携や提供機能を持つ農業データ連携基盤「WAGRI」を開発。これにより、農業者がデータを使った農業に取り組めます。



瀬戸 りか氏
日本電信電話株式会社
研究企画部門
食農プロデュース担当

スマート農業を広めて農家と日本を元気に

瀬戸氏は、情報通信技術等を使って農業の課題を解決する方法を広める活動をしています。女性の「共感力」を強みに、農家に寄り添い一緒に課題解決に取り組むことで日本を元気にしています。



小池 聡氏
ベジタリア株式会社
代表取締役社長

経験や勘に頼らない「科学」に基づく農業

小池氏は、科学的根拠やデータを用いたスマート農業を実践しています。センサを用いて土壌の状態等を数値データ化することで最適な栽培が可能になり、労働時間も短縮。農業でも働き方改革が可能に!



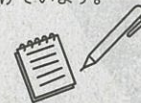
尾畑 留美子氏
尾畑酒造株式会社
専務取締役

島と共生する酒造りで世界とつながる

佐渡島・尾畑酒造の尾畑氏は、温度管理センサ等を活用したスマートブリュワリー(醸造)に取り組むほか、廃校を活用した特別授業や酒造り体験という形で佐渡島と世界をつなぎ、地域を盛り上げる活動を続けています。



スマート農業には、いろいろな取り組みがあるんだ! 私にもできることがあるかも!?



新しい技術を活用して、地方創生の実現へ!



小池 聡氏

スマート化によって田畑の様子を遠隔で確認できれば、育児中の若い夫婦でも家事と農作業を両立しやすくなり、農家の継承問題や労働力不足が解決されます。

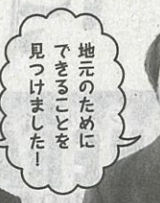
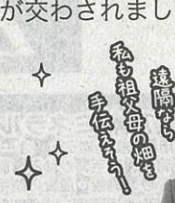
パネルディスカッションでは...

スマート化は経験や勘を支え、誰もが付加価値のあるものづくりができるよう、可能性を広げられます。



尾畑 留美子氏

イベント後半では「地域で仕事をつくり、地方創生を実現する上で重要なこと」をテーマにパネルディスカッションが行われました。ここでは、「流通・消費までを含めたスマート化の実現や、新潟の食材の魅力が大消費地に伝えることが大切だ」「スマート化によって、農業への新規参入が期待できる」といった意見が出ました。スマート化を実現させることで、農業がより魅力的な産業となり、地方創生につながっていきます。グローバル化が進む中で、新しい技術も活用しながら、地域にしかないものを磨き続けることも重要だといった議論が交わされました。



政府広報 | 内閣官房・内閣府

地域で活躍する、地域を元気にするヒントが見つかる「地方創生ワカモノ会合」について詳しくは

ワカモノ会合

